



联合国  
粮食及  
农业组织

FOOD AND  
AGRICULTURE  
ORGANIZATION  
OF THE  
UNITED NATIONS

ORGANISATION  
DES NATIONS  
UNIES POUR  
L'ALIMENTATION  
ET L'AGRICULTURE

ORGANIZACION  
DE LAS NACIONES  
UNIDAS PARA  
LA AGRICULTURA  
Y LA ALIMENTACION

منظمة  
الغذية  
والزراعة  
للأمم  
المتحدة

### Liaison Office in Japan

5F Yokohama International Organizations Center, Pacifico-Yokohama,  
1-1-1, Minato Mirai, Nishi-ku, Yokohama 220-0012, Japan

Tel. (045) 222-1101  
Facsimile: (045) 222-1103  
E-Mail Address: FAO-LOJA@FAO.ORG

FAO (国際連合食糧農業機関) 日本事務所  
2009年2月12日

LOJAPR09/04-No. 126

## プレスリリース

### 早期の兆候によれば2009年の世界の穀物生産は減少

2008年の豊作にもかかわらず、多くの貧困国では高い価格が続く

2009年2月12日、ローマ - 最新のFAO「穀物見通しと食料事情」報告書によれば、早期の兆候は、史上最高を記録した2008年に比べ、2009年の世界穀物生産は減少することを示すものになっている。作付面積の減少と天候不順のため、世界の主要な生産国のほとんどで穀物生産が減少するであろう。

報告書によれば、ヨーロッパと米国全域の冬小麦の生育条件は一般的に良好であるものの、昨年と比較して収益見通しが大幅に悪化することや投入財のコストが引き続き高いことから、これらの国々での作付面積は減少した。

低所得食料不足国における2009年の早期の穀物生産は減少する見通しである。早期見通しでは南部アフリカにおけるトウモロコシの収穫の減退が予想される。乾燥した天候が長引いているため、アジアの小麦の見通しも悪化している。中国の冬小麦地域のほぼ半分が深刻な干ばつに苦しみ、インドでも降雨量が不十分である。しかし、全体的には、アジアでこれから播種されるコメの動向に非常に大きく左右されるであろう。

南アメリカでは、2008年の小麦の生産はアルゼンチンの干ばつにより半減し、長引く乾燥した天候がこの地域の2009年の粗粒穀物の見通しに悪影響を与えている。

### 在庫は増える

2008年穀物生産の最新の推計と2008/09年度の利用の予測に基づく、2009/10年度の期初の世界の穀物在庫は4億9600万トンになるとFAOは予測する。これは2002年以降最高の水準となる。

FAOの報告では、低所得食料不足国の穀物需給は、2008年の収穫が平年以上であったことから、全体としては緩和されると見ている。

### しかし多くの国で価格は依然高い

2008年下半年に国際価格は下落したのにもかかわらず、いくつかの開発途上国の国内食料価格は非常に高い水準にとどまっており、低所得層の食料へのアクセスに影響が出ている。南部アフリカおよび中央アメリカでは、ここ数ヶ月の間、主要食用農産物の価格は上昇を続けるか、又は下落しなかった。

西アフリカ及び東アフリカ諸国では、9-10月の収穫期の始めには価格は著しく下落したが、本年1月までには前年よりかなり高い水準となっていた。これらの地域で重要な主食となっている輸入米や輸入小麦については、価格は未だに上昇を続けており、状況は更に悪い。コメと小麦の価格はアフガニスタン、パキスタン及びスリランカを含むアジアのいくつかの貧困国でも引き続き高い。

## 危機的状況にある国々

食料危機は世界の 32 カ国で続いている。加えて、最近の紛争の結果としての**ガザ地区**の食料事情は特に懸念される、と FAO は述べた。

東アフリカでは、1800 万以上の人々が紛争、社会不安、天候不順、又はこれらの複合的な原因によって深刻な食料不安に直面している。一方、南部アフリカでは食料不安に直面する人の数は約 870 万人と推定される。**ケニア**、**ソマリア**および**ジンバブエ**では食料安全保障の状況は干ばつによる生産減、政情不安、経済危機により非常に深刻である。

外部支援を必要としている国々のリストは下記をご覧ください。

<http://www.fao.org/docrep/011/ai480e/ai480e02.htm>

## バイオ燃料

FAO の最新予測では、2008/2009（7月-6月）年度にはバイオ燃料生産のための穀物利用は更に増加して、合計 1 億 400 万トンに達し、2007/08 年度の推計値に比べ 22% の増加、世界の穀物生産の 4.6% に相当することになる。

米国では、バイオ燃料用穀物利用の合計がおおよそ 9300 万トン（9100 万トンはトウモロコシ）、2007/08 年度の水準に比べて 19% の増加と予測される。早い段階での予測では、トウモロコシのバイオ燃料用利用の一層の増加を見込んでいたが、石油価格の急激な下落と経済の減速のため、ここ数ヶ月の間に従来の見込みを下げている。

英文 URL: <http://www.fao.org/news/story/en/item/10127/icode/>